マラソン（解説）

R4.9.18　森田尚喜

　８ｔｈ「マラソン」の解説です。この解説は、アルバムが出来上がってから、ずいぶん経ってから、書いています。このアルバムを完成させたのは、おそらく２０１５年だと思われます。アルバムをいくらかCDにやいて、配ったのですが、その枚数は、２０枚程度だったようです。よく覚えていないのですが、私が栃木へ転勤する少し前に作り上げたのだと思います。

　私の曲が１００曲に達して、その記念という形で作り上げたものなのです。ちょうど、１００曲にしたかったので、少し収録曲が多くなっています。

　５０歳にもなってからの（当時）転勤だったので、随分、気持ちも荒れていて、あまり余裕がなくなったのだと思います。ホームページの整理もできずに、放置しておりました。

（パソコンの故障とか、yahooホームページの閉鎖など、色々な事もありましたしね）

　このアルバムのタイトル「マラソン」は、人生ってマラソンみたい、山あり谷あり、という感覚をモチーフにした歌である「マラソンってスポーツは」という曲から、つけています。まあ、１００曲まできて、随分走ったかな、という感じかと思います。

　この後の作曲は、少し、制作スピードが徐々に落ちていきました。

　今、ホームページも少し整理して、その機会に、解説を書いています。一曲一曲、思い出しながら、書いていきます。

1. マラソンってスポーツは

　アルバムのタイトルになっている曲です。

　これは、せやねん、というＴＶ番組で、マラソンをしている関西のボクサーの人が、足を痛めながらも、マラソンって人生みたいやな、と言って、走り続けていたのをみて、作った曲です。私も、昔、一度だけ、紀三井寺マラソンというものに出たことがあるのですが、マラソンって、本当に、大変ですよね。でも、最後までやり遂げられたら、満足感はありますよね。でも、そのための準備は、すごく大変で、それを、楽しいと思ってやれるかは、人による気はしますがね。

　生きていくうえで、色々な事があっても、振り返ると、満足できることもあるし、そういったことを、いいたい曲なのです。

　　　　執筆中です。　　もう少し、お待ちください。

1. 雨
2. 春からはじまる
3. かき氷キーン
4. 秋の味覚
5. 冷たい雪も太陽に溶けてく

７．おじさんリベンジ

８．何を信じりゃいいの

９．歌おうよ

１０．ずっとまっすぐにやってきた

１１．何かにすがらなきゃ

１２．暴力の悪循環

１３．和歌山

１４．ずっとずっと待ってる

１５．風にのって

１６．カウントダウン

　マラソン。ぜひ、楽しく、聞いて下さい。

森田ｂ